

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

討議年月日: 令和 2年 10月 23日

公表: 令和 2年 12月 15日

事業所名 放課後等デイサービス ボカラポットふじしま

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		・基準以上のスペースで活動しています	
	2	職員の配置数は適切である	5		・基準以上を配置しています	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関に階段があるが、現在は不便はない</li> <li>・バリアフリーにはなっていないが、手すりが設置されている</li> <li>・スロープがない</li> <li>・出入口に段差あり</li> </ul>	・玄関については、ソフト面からもリスクを軽減できるような方策を検討していきます
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広く職員が参画していないが、職員同士で相談しながら業務を進めている</li> <li>・社員の方が請け負っている仕事を知らないため、もっとお手伝いできることがあればと思います。空いている時間に出来る仕事や作業を明確にしてほしいです</li> <li>・参画していないため、今後改善案を発する機会があるとよい</li> </ul>	・スタッフの仕事の割り振りを見直したり、業務上の手順や書類フォーマットの改善にも年間を通して取り組んでいきたいと考えています。今年度中に改善計画を策定し、スタッフ間で共有していきます
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		・毎年、「保護者等からの事業所調査」を実施し、保護者の意向把握に努めています	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		・毎年、HPにて公開しています	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	・他所から評価できる人と呼んでは行っていない	・第三者による外部評価を受けてはいませんが、社内の第三者評価者資格を有する職員に、来年度中に内部評価をしてもらう計画を立てています
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度はコロナのため、実施できていない</li> <li>・コロナのため行っていないが、コロナ前は行っていた</li> <li>・コロナの影響で今年度はできていない</li> </ul>	・今年度は新型コロナウイルスの影響で会社全体でのミーティング・研修が行えずにいましたが、事業所毎にミーティング・研修を月に一回開催ははじめ、資質向上の機会を担保しています
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボカラポット独自のアセスメントシートを使用している</li> <li>・今年度はサービス担当者会議の新たな実施方法に試行錯誤しながらチャレンジしている</li> </ul>	・子ども・保護者により満足していただけるように、エビデンスや説得力のある計画作成を目指し、計画作成に有用なアセスメントツールを今後も模索・検討していきます
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3	・希望される方にはVineland-II、LDI-Rを行っています	

適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		・毎月、話し合いの場を設けて立案をしています	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・月に1回、チームで話し合いをし、アイデアを出し合っている ・月単位で遊び・活動内容を考えています	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		・平日はおやつの時間、日々の遊びの時間を設定しており、長期休みにはさらに細かく時間・場面・活動内容を決めています	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		・サービス担当者会議を開き、個別の視点、集団からの視点の両面を勘案し、話し合いで作成している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	・できていることが多いが、時間に追われてできないこともある ・打ち合わせでは、子ども一人ひとりの支援計画のポイント、保護者からの伝達事項、支援上の留意点等をまとめた個別規定集を用いている ・個別規定を用いて、短時間で確実な打ち合わせができるように努めています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	4	・できていることが多いが、時間に追われてできないこともある ・必ずはできていないが、気になったことは共有している ・記録の共有はできている ・打ち合わせ時間はないため、記録を残し共有化をはかっている	・支援終了時にも、短い時間でも必ず対面で打ち合わせができるよう、仕事の仕組みを見直していきます
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		・個別規定に基づき、記録をしている	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		・複数スタッフでモニタリングを行っています	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		5	・機会がないが、開催される時には参加する ・会議がないと聞いている ・会議が開催されていないようである	・機会がほとんどありませんが、依頼があれば適任者が参加するようにしていきたいです
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1	・機会があるごとに担任に学校での様子を伺うようにしている ・保護者さんを通じて行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		5	・対象児がいない ・受け入れがない ・必要な子がいない	・必要なケースがあれば、体制を整えていきます
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		5	・保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で直接情報を共有する機会はないが、利用開始時に保護者から情報をもらい共有している	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		5	・対象児童なし ・学校を卒業した子がいない ・対象児が今のところはいない ・対象児がいないため	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		5	・助言や研修についてはないのでは(時節柄?) ・今年度は行われていない ・今年度はコロナのため開催なし	・今年度は新型コロナウイルスの影響でなかなか研修の機会がありませんでしたが、施設としては積極的に専門機関や他デイサービスと連携し、助言や研修の機会を設けていく方針です
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4	・公園などで一緒にあそぶ機会あり ・児童館への参加はない。公園での交流は多々ある	・意図的に交流の機会を設ける必要性はないと、保護者アンケートから判断をしています。ただし、「地域社会との共生」という観点は常に意識していきたいと思っています
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		5	・今年度は参加施設ではないため、参加していない ・今のところ参加したことはない	市内の放課後等デイサービスが輪番での参加となっているため、担当施設となる年度は、しっかりと出席する意向です

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時には限りがあるため、緊急性のあることは、電話、LINEを活用している</li> <li>・面談時、送迎時に伝えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最も保護者と接する機会の多い送迎については、保護者により満足してもらえるような関わりを追求し、どのようなアプローチができるのか、スタッフ間で検討するミーティングを企画している</li> </ul>	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後実施できるように検討・準備中です</li> </ul>	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内に運営規定を掲示しています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変更等あれば保護者に周知していきます</li> </ul>	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年ごとに保護者面談を行っています</li> <li>・電話やLINEでも随時相談を受け付けています</li> </ul>		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度はコロナの影響で実施できなかったが、昨年は保護者同士の交流会の機会を作っていた</li> <li>・父母会はない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は新型コロナウイルスの影響で保護者同士が交流できる場を提供することが難しかったのですが、来年度以降に関しては感染予防対策を講じながらどのような形であれば開催できるのか、代替案はないかなどを協議していきたいです</li> </ul>
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情解決制度を整備しています</li> </ul>	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会報はないが、長期休みの前には活動カレンダーを配布している</li> <li>・定期的な会報の発行はない</li> <li>・会報は発行してないが、都度連絡している</li> <li>・子どもたちの活動の様子がわかりやすいように、定期的に保護者に写真を送っています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も保護者に子どもの生き生きと活動や遊びを楽しむ姿を画像で個別に発信していきます。また、長期休暇の際には行事予定をあらかじめ案内し、期待感を持って利用してもらえるようにしていきます</li> </ul>	
	35	個人情報に十分注意している	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別ファイルや契約書、受給者証の写しなどは人の目につかないように書庫で保管しています</li> <li>・画像の取り扱いにかかる同意書に関しては、半年に1回の目安で保護者に変更がないか確認しています</li> </ul>		

非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		・個別に連絡をしたり、改めて口頭で確認したり、LINEや手紙で文書が残るように工夫したりしています	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	・今年度は例年の夏祭り開催されていないので	・今年度の夏祭りは新型コロナウイルスの影響で開催できませんでしたが、来年度以降に関しては感染予防対策を行った上でどのように開催できるのか、別のイベントを行うのかを協議していきたいです
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		5	・防犯マニュアルは作成されているが、スタッフに周知されていない ・防犯マニュアルが周知されていない	・年度内にマニュアルを見直し、HP等を通じて保護者に共有を図っています
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		・年に2回、長期休みの際に行っています	・参加していない子どもや保護者にも実施報告ができるよう、HP等を活用して情報発信していきます
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		5	・MTが開催できなかった ・コロナ前は年に1回行っていた ・今年度はやれていない ・研修機会はないが、独自で勉強している	・今年度は新型コロナウイルスの影響で全スタッフが集合する研修の機会が設けられませんでした。実施方法の変更を含め、来年度の年間研修計画には盛り込んでいきたいと考えています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	4	・該当児がいない	・施設として行わない方針ですが、パニックのある利用者で、本人・他児・スタッフに危害が及ぶ恐れのある場合には、「クールダウンのために別室に移動を促します」などの説明を契約時にしています。今後も契約時に保護者に丁寧な説明をしていくと同時に、計画にも必要があれば記載していきたいと思っています
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		・利用開始時にアレルギーがないか確認し、面談でも変わりがないか、確認しています。アレルギーがある場合には、代替のおやつや食事を提供するなどの対応を行っています	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		・支援終了時の振り返りの際に、今日のヒヤリハットについて確認を行い、どのように対応すればよかったのかを確認しています。また、支援開始前の打ち合わせの際には、その内容を必ず共有し、同じ状況が起こらないようリスクの防止に努めています	